

広 報

ふじかわ

2 月 号

昭和63年2月5日発行 No. 3 1 9

町 の メ モ

昭和63年2月1日現在	
人 口	17,008人
増 減	+17人
男	8,377人
女	8,631人
世帯数	4,441世帯
面 積	31.09km ²

富士川町 総務課 ☎81-1111
〒421-33 富士川町岩渕121



みんなで育てたカモが
17羽になった (温水ため池)

町のことしの目標 「健康な心とからだで住みよい町に」



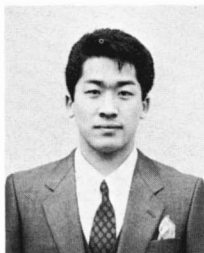
会場は華やかさの中に「決意」がうかがわれます

月日がたつのは早いもので、「第一小学校体育館建設、第二小学校改築工事」などのニュースがあった年に産声を上げた赤ちゃんがもう成人式。

「第三十七回富士川町成人式」が、一月十五日の成人の日、中央公民館で、大勢の来賓の方々に祝福される中、行われました。式典では、常葉雅文町長などから、お祝いの言葉が贈られ、新成人を代表して、蓮池永伸・村山智恵美さんが、「はたちに思う」を発表した。

おめでとう 20歳 社会人としてのスタート

—二百七十三人が大人の仲間入り—



大北町 蓮池 永伸

責任を持つということ

新年を迎え、今日こうして無事に成人式を迎えた訳ですが、私としては正直なところ、成人としてのハッキリとした自覚がないというのが本音です。二十歳だ、成人だ、これで酒が飲める、タバコが喫える、ということも確かに成人者に与えられた権利です。しかし、それらの権利も「責任」という大きな重い基盤の上のみ、その効力があると思うのです。成人となる私たちが、今後一生持ち続けなければならないものが、「責任」なのです。

両親の援助を今だに受けている私としては、まだまだ親に頼りきっている身分であり、偉そうな事は言えません。しかし、すべてに甘えていた過去の自分を反省し、二十歳を境に気持ちの上でメリハリをつけ、自立心・責任感を少しずつでも植えつけてゆかねばと思うのです。甘えからの脱却ができた時、成人者としての自覚が芽ばえるのであり、そこで初めて本当の意味での成人者になれるのではないのでしょうか。



アトラクションで歌う斉藤定子さん

急速に多様化・複雑化していく今日の社会で、一人前の成人として生きていく為には、それなりの厳しい覚悟が必要だと思えます。決して、甘え・妥協は

許されません。今まで親にかぶせてきた責任を、これからは自分自身が背負っていくなければならぬのです。その為には、自分を取りまく社会を冷静な透徹した眼で見つめ、自己抑制しながら毎日を生きていくことが大事だと思ふのです。人には、やさしく思いやりの気持ちを持ち、自分には厳しく、いつも反省心を忘れない。これは理想論ではありますが、こんな姿勢でこれからの長い道のりを歩んでゆけたら、と考えています。少しでも本当の意味での成人者に近づくために。

新成人の第一歩を踏み出した今、私は常に努力を怠らせず、かといって肩ひじ張らず、マイペースで、二十一世紀に向かつて、がんばっていきます。



相生町 村山 知恵美

自分の夢の実現

二十歳、それは一つの目標でした。

二十歳になれば、自分の意見を大勢の人が聞いてくれるでしょう。子供という親の保護や社会の保護から解放され、また、恋愛することも、大人として周囲の人が認めてくれるでしょう。世界中のどこへ行っても、自分の目で、ものを見つめることが出来るのではないかと、二十歳の自分に強いあこがれを持っていました。

そして今日、私は二十歳の成人式を迎えました。喜びとともに、社会人として一層の責任を身に感じ、心の引きしまる思いがします。

しかし、「二十歳になった」と言っても、正直に言えば私はまだ、その実感がはつきりとかつかめません。でも、今こそ、これまでの自分自身の生き方に対する疑問を洗い直し、また、自分の心の奥を見つめ直して、これからの私を考える良い機会にし

たいと思います。

私は、高校卒業後、大学に進学し、大学の女子寮に昨年十二月まで生活しました。親元を離れ、東京に一人で上京し、寮生活では、いろいろなことを学びました。今まで以上に人とのつながりを感じました。一つの部屋に一年生から四年生までの四人で共同生活をするのですから、このように感じるのも当然だと思えます。辛くて家にいきなり帰ってきて、泣いたこともありましたが、それ以上に、厳しく規制された生活の中で、楽しいこともあったのです。友達と朝までずつと話したり、先輩に連れていってもらったり。

しかし、昨年十二月で、私は寮を出ることにしました。一人になることは不安ですが、下宿生活を二十歳になるにあたって、経験してみようと思ったのです。下宿することによって、今まで以上に自覚を持って生活していかなければならないので、

そう肝に銘じて頑張ってみます。

私は、こうした下積みの中から、自分の夢を持ち続け、いつの日か実現することを信じ、努力しています。たとえ、それが夢だけで終ったとしても、悔やまないと信じます。自分を見つめながら生きた人の心には、いつの日か厳しさが備わり、己れに勝とうとする心が生まれるのではないのでしょうか。合理的に生きなければ生きられない今の世の中ですが、まだ人間として未熟な私だからこそ、自分に厳しく生きてみたいのです。自分の選んだ道に立ちほだかろうとしている幾重もの壁。私は理想を高く持ち、自分の夢の実現に向け、これを乗り越えていく覚悟です。

本日は私たちのために、このように盛大な成人式を催してくださり、厚く御礼申し上げます。これから、私たちの人生にはいろいろな出来事が起こるでしょう。幸運も来れば、不運も来ます。「禍福はあざなえる縄のごとし」と言われます。私たちは、皆様の祝福とご期待にこたえ、りっぱな人間となるように努力し、勉強していこうと固く決意しています。

はたちの自覚を行動に ・はたちの献血

一月十一日から、恒例の「はたちの献血」が、一カ月間行なわれました。昭和五十年から始まったこの行事も十二回目を迎え、キャンペーン期間中の献血者の合計も、一千万人を突破しました。

ところが最近、若い人たちの「献血離れ」が増えてきたといわれます。この原因のひとつに、現在、献血は二百ミリリットルのほか、四百ミリリットルと成分献血の三方法がありますが、「献血方法がすべて四百ミリリットルに変わったのでは？」と誤解されている

「医療に必要な血液はすべて国民の献血で」を目標とする血液事業——成人となり、社会を支える一員となった第一歩として、ぜひ献血にご協力ください。

■はたちのあなたと選挙権■

社会をよくなる
価値ある一票

棄権は
やめよう

まちの広場

元旦ジョギングの集に 三百人が参加



初日の出に今年の誓い
をする参加者

元旦の早朝、富士川地区は川坂山、松野地区は八幡神社を中心に、一・五歳の道ので、三百人の町民が集まり、「元旦ジョギング」が行われました。

第一・第二小学校に集合した参加者は、ラジオ体操で体をほぐした後、自分のペースで走り出し、途中、川坂山、八幡神社でお参りをしました。

川坂山に登った富士川地区の人達は、眼下に駿河湾や町内の家並みを見下ろし、七時ちょうどに、伊豆の山から上がった初日の出を拝み、年頭の目標や抱負に、手を合わせていました。

祝成人各区対抗伝競走 新記録で北松野二区優勝

はたちの春を祝う「第二十四回各区対抗伝競走」が、第二小学校をスタートし、中央公民館をゴールとする町内一巡のコースで行われました。この大会に九チームが参加し、選手は沿道での盛んな声援に力走した結果、北松野二区が、三十八分三秒の好記録で優勝しました。



優勝
北松野二区
二位
宮町
三位
新町四十九

第1区(小学生)の力強いスタート



第一中学校と岩淵保育園で カルタ大会

一月十三日(水)第一中学校で、クラスの団結と親睦を目的に、生徒が自主的に計画した百人一首大会、岩淵保育園でカルタ大会が開かれました。両会場とも一枚取るごとに、大きな歓声が聞こえました。



園児も生徒もカルタに集中します

松野地区子ども会で 元気に駅伝大会

元気に駅伝大会

成人の日の一月十五日(金)十六人で構成された九チームは、午前十時半、元気に松野地区子供会育成者・リダー連合会(佐野徳治会長)主催による第二十七回松野地区子ども会駅伝大会が行われました。

コースは、松野地区を一週する十二・六歳、二十六歳以上の男女二区間。三年生以上の男女二

結果は次のとおりです。

優勝 富士松野白軍
二位 清水町
三位 南町一・富士見町

町、庵原三町連合出初式



きびきびとしたポンプ操法

行進し、式典を終了しました。

この出初式では、次のみなさんのほか、多数のみなさんが表彰を受けました。(敬称略)

三町消防連合出初式表彰
◎日本消防協会会長表彰

- 精績章 芦川 清司 (木島)
- 勤続章 井出 稔 (南町二)
- ◎静岡県消防協会会長表彰
- 顕功章 久保田敏男 (清水町)
- 特別功労章 芦川 和美 (木島)
- 宇佐美哲示 (木島)
- 若月 晃 (本通三)
- 大久保勝令 (上町)
- 望月 明 (八幡町)
- 和泉 欽也 (南町二)
- 山下 篤 (本通四)
- 花田 士郎 (上町)

三十五年勤続功労章
望月 敏雄 (幸町)

◎消防協力者(感謝状贈呈)
斎藤小夜子 (川坂)
錦織 峻 (南町一)
佐野 正豊 (南町一)

温水ため池がカモの池に

この池は、老人憩の家(南松野八幡町)の横にあり、従来、この周辺に灌漑用水を供給するために、作られました。池の正面には富士山がそびえ、松野の家並みを眼下に見渡して、池の上のゲートボール場では、ボールを弾く音が響いています。このような環境の中で、六匹の譲られたカモは、松野児童館(望月富子館長)の望月容子さんが、毎日えさを与え、近所の人もパンなどを持ってきたり、地域ぐるみで世話をした結果、十七羽に増えていきます。表紙の写真は、望月さんと子どもたちが、カモにえさを与えているところです。

富士川の河原などでどんど焼き

小正月の十四日から十五日にかけて、富士川の河原や各区の最寄りの場所、竹を芯にして、正月のおかざりやダルマなどを積み重ねて火焚きをするどんど焼きが行われました。

各区の会場に集まった人達は、用意した団子をこの火で焼いて、今年の無病息災を願っていました。



富士川河原でのどんど焼き

天野 寛氏逝去



天野 寛氏 (78)
舟山町

富士川町の短歌の育ての親である天野寛氏が、去る一月四日逝去されました。今月号の短歌には、多くの方から天野氏に捧げる挽歌が多数、寄せられました。謹んで心からごめい福をお祈りいたします。

家族みんなでかしい消費者

▼こんな手口にご用心▲

近年の消費生活を取り巻く環境は、訪問販売や通信販売などの増加、商品・サービスの多様化というように大きく変化してきており、高齢化社会、高度情報化などの環境条件も反映され、消費問題の内容も質的に複雑になっていきます。

「訪問販売」や「通信販売」「クレジット」などの急激な普及により、自宅にいながら手軽に商品を購入することができ、上手に利用すれば便利になった一方、悪質な販売方法、クレジットのつかいすぎ等、消費者被害が増加しています。

今後、ますます多様化が考えられる悪質な商法について、二・三の例を紹介いたしますので、必要な知識を充分身につけ、被害の未然防止に努めましょう。

困ったことがあったら
県民サービスセンター
☎〇五四二(2) 二二九九
富士川町役場総務課



健康は安易に買えるものではありません

特に、お年寄りの方々は、どこか具合の悪い所のある方が多く、こうしたお年寄りの弱みにつけこみ、誇大な効能効果をとって、ロイヤルゼリー・クロレアビタミンなどの健康食品や健康器具を訪問販売で売りこむ例が最近、めっきり多くなっています。健康食品は薬品ではないので、効能・効果を宣伝して販売してはいけないことになっていきます。

心のスキにつけこむ商法に気をつけましょう

この世に悩みのない人はいないと言われますが、老後の生活には、とかく悩みの種は尽きないようです。こうした心のスキにつけこみ「無料で姓名判断をします」と話をもちかけ、不安になるような事を言いつけて印鑑や大理石の壺を売りつける商法があります。

「開運商法」と呼ばれ、被害額も大きく、不幸になるどころか、不幸になることにならないように、日頃から家族や友人と話し合う機会を持ち、心のスキをつくらないことが、大切です。

公的機関は訪問販売はしていません

消防署や清掃局などの公的機関からの訪問らしくよそおって、消火器・トイレファン・浄化槽のフタなどの商品売りつけることがあります。また、役所の服らしいものを着ていることもあるので、だまされる場合が多いようです。

公的機関は直接訪問販売することは、まずありませんので十分注意しましょう。

ウマイもうけ話には慎重の上にも慎重に

「絶対に儲かります」「銀行預金より有利」など、巧みに大豆や砂糖、金などの海外商品先物取引に勧誘され、悪質業者に大金を巻き上げられる例が増えていきます。こうした取引は、素人には非常に危険なものですから、参加しないことが賢明です。

被害にあわないためのチェックポイント

一、購入意思のない時は、キツパリ断り、相手のペースにのらないこと

二、契約の内容を明らかにした書面や領収書を必ず受け取る

三、「無料です」「必ずもうかる」又は「選ばれました」という甘い誘いとセールストークには注意すること

四、クーリング・オフは電話ではなく、必ず書面で行うこと

五、契約は慎重に。うかつに署名・押印をしないこと

ご存知ですか クーリング・オフ制度

訪問販売で契約した商品が、本当に必要なかを冷静に考え直す期間で、契約した日を含めて七日以内なら、無条件で契約の解除ができる制度です。

※クーリング・オフができない場合

○商品を受取り、代金を全額支払った時

○健康食品・化粧品などの消耗品を使用してしまった時

○法律で、クーリング・オフの対象となっていない商品

※解約方法
契約の解除の通知は必ず書面で行いましょう。内容証明郵便が確かです。

歳時記 手袋

手袋というと、子供のころ、霜やけの手に、お母さんが夜なべして編んでくれた手袋をはめて、霜柱を踏みながら登校した思い出のある方も多いと思います。昔、子供の手袋は左右を毛糸のひもでつないでいました。大切な手袋をなくさないためです。でも最近では、電車や駅の落とし物の手袋を探しに来る人が、ほとんどいないそうです。

手袋とひとくちにいいいますが、形によっていろいろな名があります。五本指のものをクラブ、親指と他の四本の指とが別になっているものがミトン、指先がないものがミットです。

手袋は防寒だけでなく、装飾用、礼装用としても使われます。男子の礼装には、白の子ヤギの皮の手袋が使われることもあり、女性の盛装には、ひじの上まであるものもあります。

ところで、二月は省エネルギー月間です。このところ、比較的エネルギー事情がいいように見えるので、つい油断しがちですが、暖房の合理的な使用を心がけるなど、省エネルギー型の生活を習慣にしたいものです。



マドンナ紹介

浦田彰子さん (21才)

(宮町)

日本アーバーエーカー株



浦田さんは身長が百七十センチあり、この身長と長い足を生かし、中学・高校時代は短距離と走り高跳びの選手として活躍しました。会社では、営業のアシスタントとして、テレックスやタイプを打ち、忙しい毎日を送っています。

趣味はドライブとホラー映画を見ること。車を運転することが好きで、静岡や伊豆などに、おいしい店を探し、食べ歩きによく出かけます。先日、会社が終わってしそくに話しました。



1月の交通事故

人身事故	6件(7)	合計	18件(15)
物損事故	12件(8)		
富士川身延線	6件(5)		
国道一号线	7件(4)		
町道	5件(3)		
県道	10件(3)		
その他	10件(0)		

()は昨年

戸籍の窓

S 62・12・15

S 63・1・14届出分

(敬称略)

四十九町	古木まり恵	茂	二女
四十九町	杉山三佳	敏高	三女
宮町	宇佐美亮介	務	長男
小池	野田公代	和男	長女
幸町	二宮裕一郎	健一	長男
東町一	大石省吾	浩之	長男
東町二	池上駿	武	長男
南町一	望月和樹	伸二	二男
八幡町	望月那津子	昭彦	長女
八幡町	津志田尚也	智	長男

八幡町	望月彩加	達巳	長女
富士松野	江藤朋実	昭一	二女
大北町	安藤実咲	利行	長女

かなしみ

区名	氏名	年齢
舟山町	天野 寛	七八
堺町	若月源作	八七
宮町	佐藤 一	六七
本通一	望月まん	八九
幸町	藏地すみ	七二
かぎあな	望月とり	八九
俣下町	石川幸市	六八

お母さんの

知恵袋

一日三十種類の食品で健全な食生活を

主婦にとつて「今晚のおかずは何にしようか？」は、永遠の悩みのタネ。夕食の支度を負担に感じている人、いませんか。家族の健康のためにも、バランスのよい食事になるように考えてあげたいですね。しかし、バランスのよい食事というのは、難しいものです。毎日の食事は糖質、脂質、蛋白質、ビタミン、ミネラルの五大栄養素を過不足なくとるのが基本ですが、食品成分表と首っ引きで献立を考えるのは、とても無理。そこで、誰にでも実行できる目安は、「一日に三十種類以上の食品をとること」で「三十種類のおかず」ではありません。例えば、みそ汁なら味噌、豆腐、油あげ、ネギで四種類。一日でとれない時は二、三日の間でバランスがとれるようにします。

天野先生に

捧げる挽歌

一月詠草(富士川短歌会)

富士川を見おろす小高き丘の上師眠られよ富士山眺めて(深沢千代子)
 手術後の右の眼固く閉じ給い古武士の顔容に歌の師逝かる(上野みつ子)
 山肌のあらわになりしに今朝の富士白く装い師の葬儀見送る(望月晴子)
 白虎隊讀えし講義聞きし日の師の温顔に視し会津魂(佐野いそ江)
 生ありてこの眼に見るなしと古里の山を恋いつつ師は逝きたもう(入月弘子)
 眼病みても短歌への情熱なお深く拡大鏡もて教え給いし(塩川恒子)
 師の腕をとりて歩みし思い出をアルバムに見る葬りを過ぎて(池田てい)
 石をもて柩の釘を打つ音の心に痛し師をおくる朝(桐谷静子)
 初七日はかりがね堤に独り来て師の墓所に向き深く拝みぬ(長橋安子)
 かずかずのみのちのくふる里詠みたまふ天野先生逝きてしまへり(藤沼満)
 寡黙なる先生が唄うふる里の会津の歌を一度ききたり(佐藤ちよ)
 師の御骨友と挟みあげ骨壺に納めし時に胸疼きたり(村山越子)
 アララギの歌風にきびしき師を悼む友の弔辞に眼濡らしぬ(中川しな子)
 会津の里恋ひて生きましたし師の御霊うからに送らる富士見ゆる丘に(若月幸江)
 三年半教えを乞いし歌の道えにししありし師は逝きたもう(土橋節子)
 師みまかりて字びし歌のかずかずの思いうかびてしきり恋しも(望月信子)
 朱の入りし詠草納屋に黄ばみしを師の逝きたればこもり読みつぐ(長谷川ゆり子)

一里塚



もうずっと昔、僕は新聞を作った。僕の通った高校で起った事件・噂・クラスメイト

の話題など面白半分の記事にして気が向けば発行するのだ。その頃、校内には、同じような事をしてるグループがいくつかあって、みんな報道にしのぎを削ったのだ。

休み時間、教室の片隅に集まって原稿を回し読みする。「ウエー、これマズいんじゃん」とA型がこだわりの選択、「へへ

へ…、かまわネーから、これ載せちゃえよ」といい加減なB型、こんな雰囲気の中、新聞はできる。そして「やっぱり俺達のがイットウ面白いんだもんネ」とO型が勝手に納得するのだ。

しかし、何故あんな元気にバカげたものを作ったのか、よくわからない。放課後、みんな帰った校舎の片隅にワイワイ集まって謄写版で一枚一枚ワラ半紙の面白オカシな新聞をこっそり印刷する。次の日、これを読むクラスメイト一人一人の顔を思い浮かべてイヒヒヒ…。それが楽しかったのだ。

ただ一方的に流れ出てくるで

きすぎた情報じゃなくて、あたりまえに暮してる中で起こる問題を拾ってきて、みんなの話題へと盛りあげる。そんな井戸端会議のメディアが生きてた頃の事、僕の心のすみにある。

今、そんなメディアが大人の世界にもほしいんだ。(武内) **社会福祉事業寄付金(敬称略)** 一万円

北松野小物作り有志の会 五万円 望月 清(かぎあな) 十万円 望月計夫(本通一) 二万円 蒲原ライオンズクラブ 三万五千四百円 石ころの会 代表 若月一郎・新井きよ

健康のためには、肉でも野菜でも同じものばかり、偏って食べるのではなく、色々なものを少しずつ食べることが大切なのです。(婦人会 清)